

# 英虞湾の浄化を目指すEM投入は地域の要請に応じ継続中。



豊かな伊勢湾の再生を目指して、三重県環境森林部と(株)イーエム総合ネットが協働で実施してきた英虞湾浄化実証試験。

5年間の実証期間を経て、アマモの良好な生育や、底質の汚濁指標の一つであるCOD値の減少も確認され、環境改善の兆しが明らかに確認されています。

平成17年度で県の調査事業は終了しましたが、地元志摩市では生活排水対策も含め浄化作業の継続を求める声が高く、規模を縮小しながらも浄化作業を実施しています。

この度、三重県環境森林部の調査結果の概要が発表されました。いくつかの検証の中で、効果があったと認められる結果がありました。

## 1、底質の化学的酸素要求量 (COD)

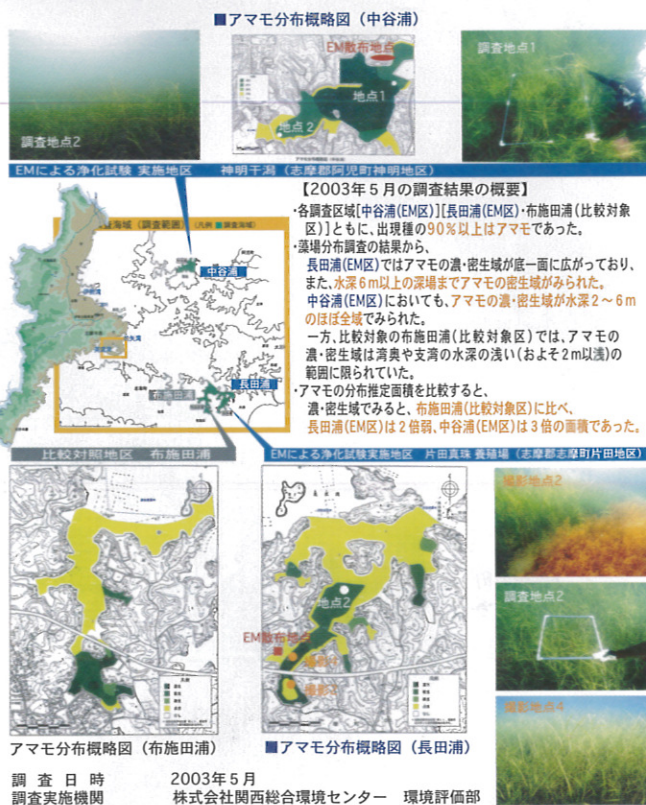
実験区の長田浦ではEM投入後2年を経過した2003年夏から低下が確認されました。2005年に一時悪化したのが全体を通して見るとEM投入前より低い状態にあります。※なお2005年4月～11月の期間は投入を中断。対象区および湾奥のCODがほぼ一定の傾向を示す中、EM投入区の長田浦でCODが低下したことは特筆にあたります。また干潟の神明地区でも同様の傾向が見られました。

## 2、聞き取り調査

「アマモ増えた」「悪臭が消えた」などの回答があり底質改善の一定の効果があると推定されます。

## 3、EMが水環境に与える影響について

全期間を通じて、底質、藻類等に対して、EMにより悪影響を与えるような事象は確認されていません。



# 志摩市 越賀真珠組合が取組む英虞湾浄化活動

100年以上に渡り行われてきた真珠養殖は、不の遺産、大量のヘドロを英虞湾に残しました。

その英虞湾で創業50年3代に渡り真珠養殖を行ってきた越賀真珠組合 山本組合長はその英虞湾の環境を愁い、NPO法人を設立、EMによる海洋浄化活動に取り組んでいます。

山本組合長は、環境教育とEMを使った浄化の両面にわたり環境活動をしています。更には、より一層の英虞湾浄化を進めるために、山本組合長と越賀真珠組合は環境予算を捻出。英虞湾越賀浦のEMによる浄化活動を行いました。



越賀真珠組合の英虞湾浄化基地



NPO法人と地元小学校生が行うEM団子投入とEM活性液の投入。